環境経営レポート

― 2023年度版 ―

株式会社　生晃

発行日　：2024年6月18日
対象期間：2023年５月1日～2024年4月30日

地元鹿沼市の大芦渓谷

エコアクション21
認証番号 0009170

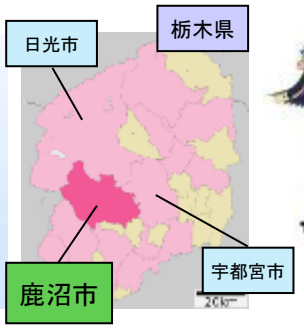
目次

	ページ
Ⅰ．鹿沼市のご案内	・・・ 2
Ⅱ．生晃のご案内	・・・ 3
Ⅲ．取り組み対象範囲と組織	・・・ 4
Ⅳ．環境経営方針	・・・ 5
Ⅴ．環境目標に対する取り組み	・・・ 6
1．二酸化炭素排出量の削減	・・・ 7
2．電力使用量の削減	・・・ 8
3．化石燃料使用量の削減	・・・ 9
4．廃棄物排出量の削減	・・・ 10
5．化学物質の適正な管理	・・・ 11
6．水使用量の削減	・・・ 12
7．会社周辺の清掃の推進	・・・ 13
8．コピー用紙使用量の削減	・・・ 14
9．環境に配慮した製品設計の推進	・・・ 15
10．その他の活動	・・・ 16
Ⅵ．2023年度実績の総括	・・・ 17
Ⅶ．環境関連法規等の遵守状況並びに訴訟・苦情の有無	・・・ 18
Ⅷ．代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	・・・ 19
Ⅸ．2024年度の活動に向けて	・・・ 19

Ⅰ．鹿沼市のご案内

当社が所在する鹿沼市を紹介いたします

鹿沼市は栃木県の中西部に位置し、県都である宇都宮市や、観光地として名高い日光市と隣接しております。
毎年秋に行われ豪華な行彫刻屋台が練り歩く「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」は、ユネスコ無形文化遺産に登録されております。また、特産には、苺、ニラ、こんにゃく、和牛、蕎麦などの農畜産物や、古くから盛んな木工業の製品として、建具、組子細工などがあります。



彫刻屋台

苺

ニラ

建具

組子細工

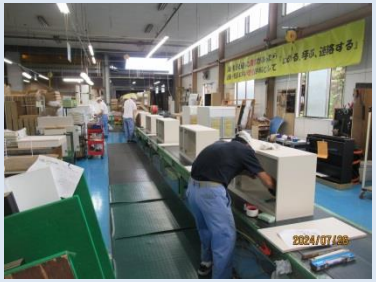
Ⅱ. 生晃のご案内

当社の概要を紹介します

1. 事業所名	株式会社　生晃　(かぶしきがいしゃ　せいこう)
2. 所在地	栃木県鹿沼市茂呂2604 (鹿沼木工団地内)
3. 代表者	代表取締役社長　　星野 茂生
4. 電話・FAX	電話(代表) 0289-62-5185　　FAX. 0289-62-5187
5. URL	http://www.seikou-sh.co.jp
6. 創業	1948年(昭和23年) 6月1日
7. 設立	1955年(昭和30年) 6月4日
8. 資本金	2,500万円
9. 土地・建物	敷地面積：13,023㎡　　うち、建物面積：6,388㎡
10. 従業員数	104名 (2024年4月末日時点)
11. 年商	売上額：38億円 (2023年度実績)
12. エコアクション21認証・登録日	2013年 3月12日
13. 認証・登録番号	0009170
14. 環境管理責任者	経営管理部　部長　島田 浩一
15. 生産活動	木工製品(キャビネット)の製造 ・システムキッチン　・セクショナルキッチン　・洗面化粧台　・玄関収納　・その他 前ページのように木工業が盛んな土地柄において、当社は木材を主原材料としたキッチンキャビネット等の生産を手掛けており、国内市場に年間約24万台の製品を出荷しております。

工場内の様子

部材の加工工程



製品の組立工程

生産製品

システムキッチン

セクショナルキッチン

洗面化粧台

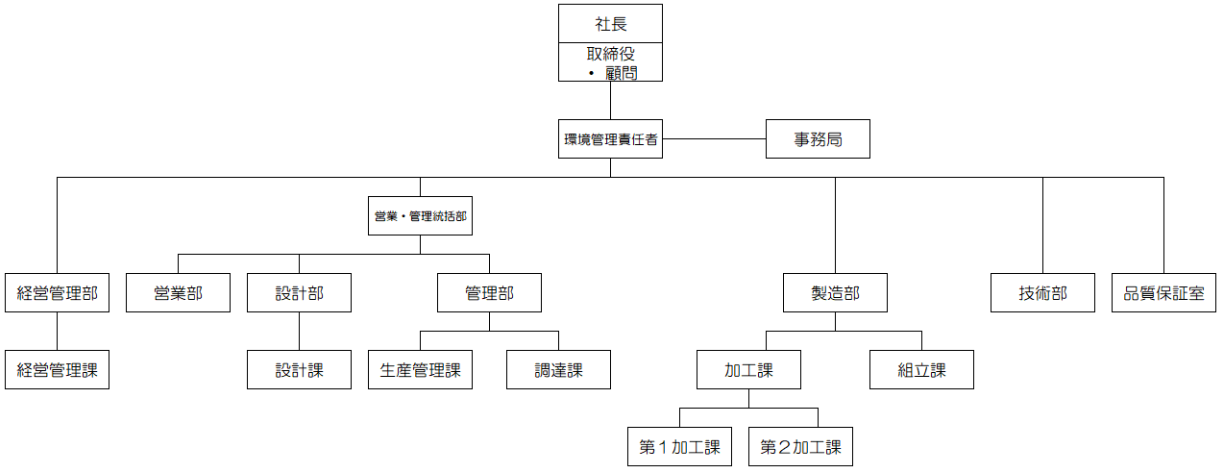
玄関収納

Ⅲ. 取り組み対象範囲と組織

取り組み対象範囲と組織を紹介いたします

1. 対象事業所 ： 本社・工場、第3工場、フクイ倉庫
2. 対象活動 ： 木工製品(システムキッチン・セクショナルキッチン・洗面化粧台・玄関収納等)の組み立て、製造
   エコアクション21の取り組み対象範囲は、全社におけるすべての事業活動です。
3. 環境経営システムの組織 ： 下図のとおりです。

【環境経営システム組織図】



職名	責任及び権限
社長	・環境方針の制定　・環境管理責任者の任命　・取組みを適切に実行するための資源(人，物，金)の用意 ・取組み全体の評価と見直し　・課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの責任者としての責任及び権限を他の責任に関わらず持つ　・取組み実績の社長への報告
各部門長	・環境目標達成のための活動の指示　・環境関連法令等の遵守の指示
全従業員	・環境目標達成のための活動の実践　・環境関連法令等の遵守の実践
事務局	・取組み計画の立案　・取組み実績の取りまとめ　・環境経営レポートの作成

〈　基本理念　〉

私たちは、事業活動が地球環境に与える影響を的確に捉え、環境に配慮した活動を推進し、地球の恵みを未来へ引き継ぐことを目指します

〈　行動指針　〉

1. 目標と活動計画を策定し、その活動状況を定期的に見直し、継続的な改善を行います
2. 環境に関する法令等を遵守します
3. 当社の木製キャビネット製造事業が環境に与える影響を十分考慮し、次の項目を重点課題として取り組みます
   (1) 省資源、省エネルギーの推進による二酸化炭素排出量の削減
   (2) 廃棄物排出量の削減
   (3) 化学物質の適正な管理
   (4) 水使用量の削減
   (5) 森林資源、生物多様性等の自然環境の保全
   (6) 3S活動、品質ロス削減によるムダのないモノづくりの推進
4. 社員教育により意識の向上を図り、環境保全活動に全員で取り組みます
5. 地域社会の一員として、社会貢献活動に積極的に参画します

2019年10月　1日
株式会社　生晃　　代表取締役社長
星野茂生

Ⅴ．環境目標に対する取り組み

環境目標に対するこれまでの実績と評価、
そしてこれからの計画です

当社は環境目標として次の9つの項目を設定して取り組んでおります。

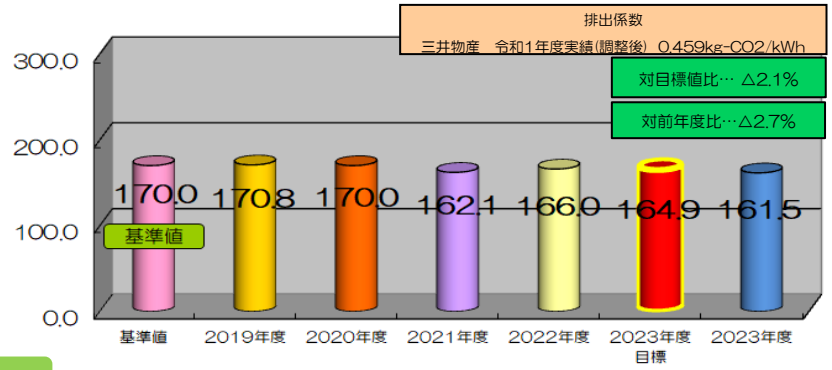
1. 二酸化炭素排出量の削減
2. 電力使用量の削減
3. 化石燃料使用量の削減
4. 廃棄物排出量の削減
5. 化学物質の適正な管理
6. 水使用量の削減
7. 会社周辺の清掃の推進
8. コピー用紙使用量の削減
9. 環境に配慮した製品設計の推進

これらの項目に「10．その他の活動」を加え
・「これまでの実績」として2023年度を中心とした実績とそれに対する評価を
・「これからの計画」として次期(2024年度)を中心とした計画を
次のページから報告します。

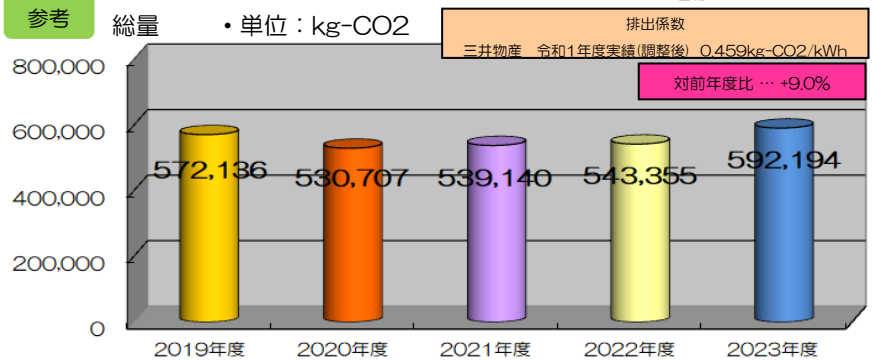
1. 二酸化炭素排出量の削減

これまでの実績

1) 過去5年間の実績　　売上百万円当り　　・単位：kg-CO2



参考　総量　・単位：kg-CO2



2) 2023年度の活動計画に対する取り組み実績
当社の二酸化炭素排出量は、電力使用量と化石燃料使用量によります。
従って活動計画に対する取り組み実績は、8ページ「2. 電力使用量の削減」、及び9ページ「3. 化石燃料使用量の削減」のとおりとなります。

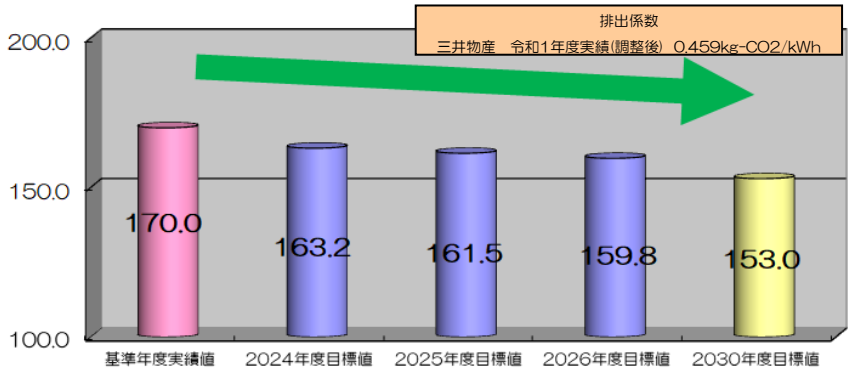
3) 2023年度の評価
売上百万円当りの排出量は、対目標値比で2.1%削減出来ました。
2030年度の目標値達成に対しても、順調に推移しています。

2023年度の評価は

これからの計画

1) 次年度(2024年度)からの目標値

売上百万円当り　　・単位：kg-CO2



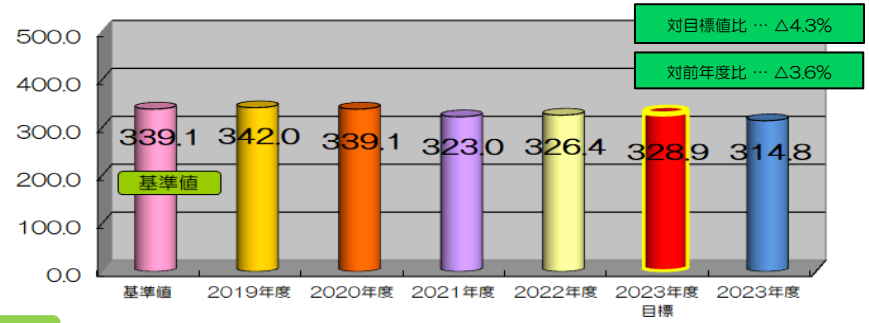
	基準値	2024年度目標値	2025年度目標値	2026年度目標値	2030年度目標値
基準値/目標値	170.0	163.2	161.5	159.8	153.0
削減率	—	4.0%	5.0%	6.0%	10.0%

2) 次年度(2024年度)の重点取り組み計画
8ページ「2. 電力使用量の削減」、及び9ページ「3. 化石燃料使用量の削減」の取り組み計画により、排出量の削減を図ります。

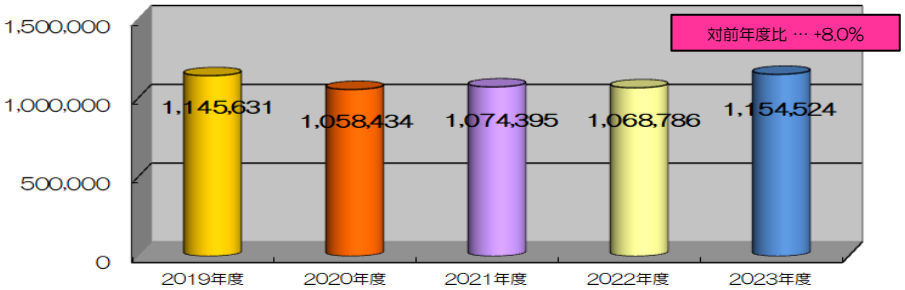
2. 電力使用量の削減

これまでの実績

1) 過去5年間の実績　　売上百万円当り　　・単位：kWh



参考　総量　・単位：kWh



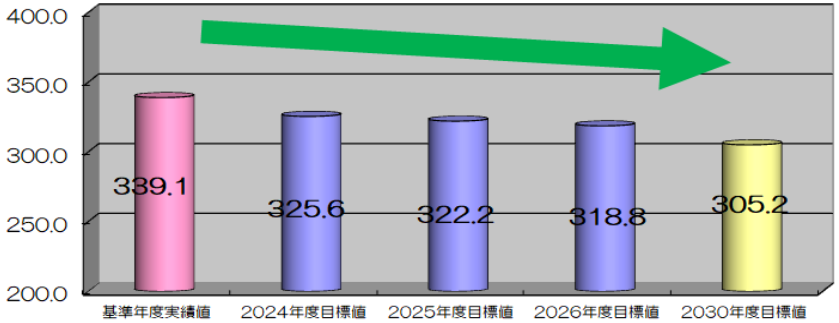
2) 2023年度の活動計画に対する取り組み実績
「とちぎ省エネお助け隊」のサポートによる省エネ活動　… ○ 実施
① 前年度電力使用量との比較検証
② 生産設備の電流計測と生産数計測
③ 集塵機のインバータ化

3) 2023年度の評価
売上百万円当りの使用量は、対目標値比で4.3%、対前年度比で3.6%削減出来ました。2030年度の目標値達成に対しても、順調に推移しています。

2023年度の評価は

これからの計画

1) 次年度(2024年度)から3か年の目標値
売上百万円当り　　・単位：kWh



	基準値	2024年度目標値	2025年度目標値	2026年度目標値	2030年度目標値
基準値/目標値	339.1	325.6	322.2	318.8	305.2
削減率	—	4.0%	5.0%	6.0%	10.0%

2) 次年度(2024年度)の重点取り組み計画

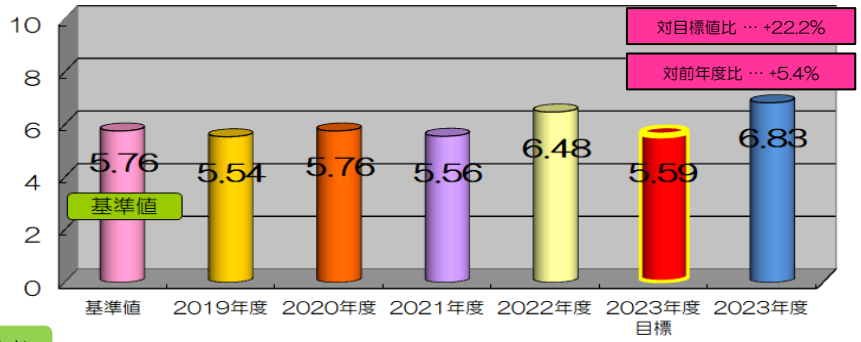
a. 生産性を向上して電力使用量の削減に繋げる取り組みを、プロジェクトを組織して進めて行きます。

3. 化石燃料使用量の削減

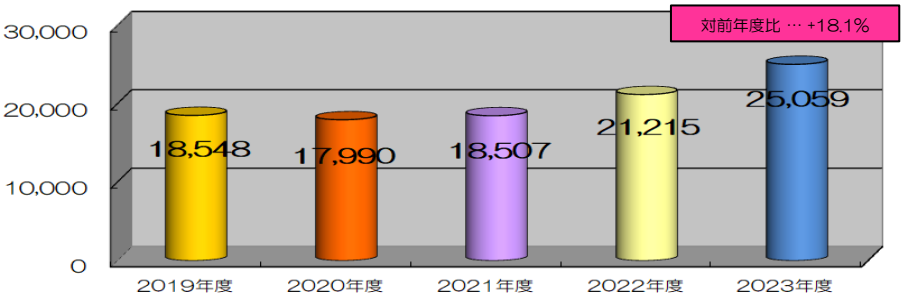
これまでの実績

当社で使用している化石燃料　・灯油　・軽油　・ガソリン

1）過去5年間の実績　　売上百万円当り　　・単位：ℓ



参考　総量　・単位：ℓ



2）2023年度の活動計画に対する取り組み実績

a. アイドリングストップの呼び掛け(掲示物の設置) … ○ 実施

b. 社用車へのエコドライブリーフレットの備え付け … ○ 実施

3）2023年度の評価

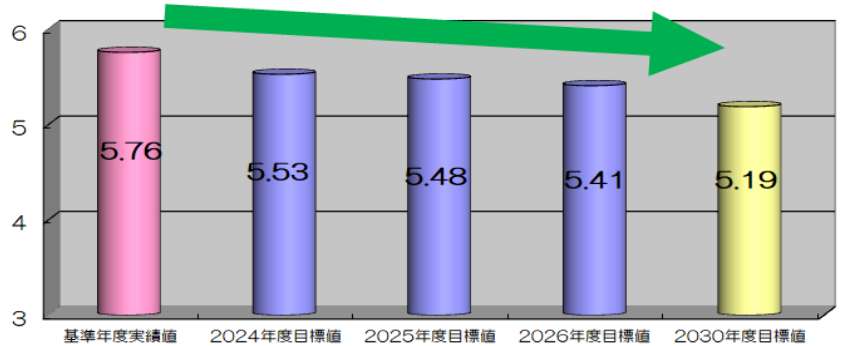
売上百万円当りの使用量は、対目標値比で22.2%超過してしまいました。
灯油及びガソリンの使用量が増加し、特に灯油の使用量が売上百万円当りの前年度比で、13%増加したことによるものです。

2023年度の評価は

これからの計画

1）次年度(2024年度)から3か年の目標値

売上百万円当り　　・単位：ℓ



	基準値	2024年度目標値	2025年度目標値	2026年度目標値	2030年度目標値
基準値/目標値	5.76	5.53	5.48	5.41	5.19
削減率(%)	—	4.0%	5.0%	6.0%	10.0%

2）次年度(2024年度)の重点取り組み計画

a. 灯油の使用期である11月から3月における、暖房を目的とした使用量を抑えるための対策を検討し、進めて行きます。

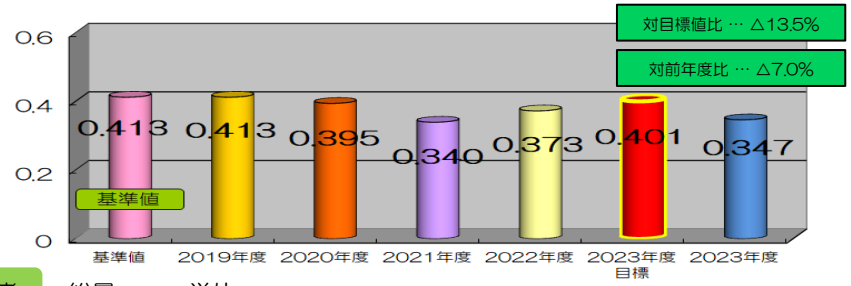
4.　廃棄物排出量の削減

これまでの実績

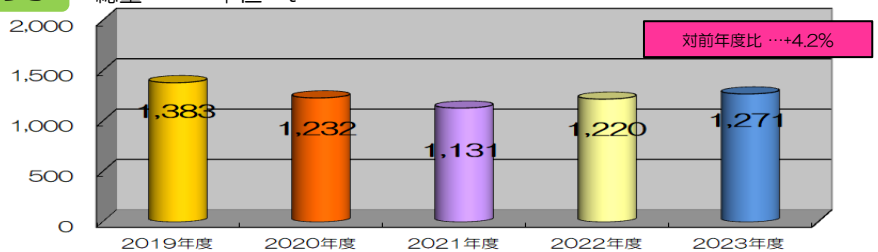
当社で排出している廃棄物

・木くず　・ビニールゴミ　・一般廃棄物　・不燃板　・混合廃棄物　・PPバンド　・燃え殻

1）過去5年間の実績　　・売上百万円当り　　・単位：ｔ



参考　総量　　・単位：t



2）2023年度の活動計画に対する取り組み実績

a.　工程内不良削減による廃棄木材の削減　…　○　実施
b.　木質ボード端材の部材用材料としての利用　…　○　実施
c.　ステンレス用空パレットのメーカーへの返却　…　○　実施
d.　不燃ボードのカットサイズ品購入　…　○　実施
e.　使用済コピー用紙の再資源化　…　○　実施

3）2023年度の評価

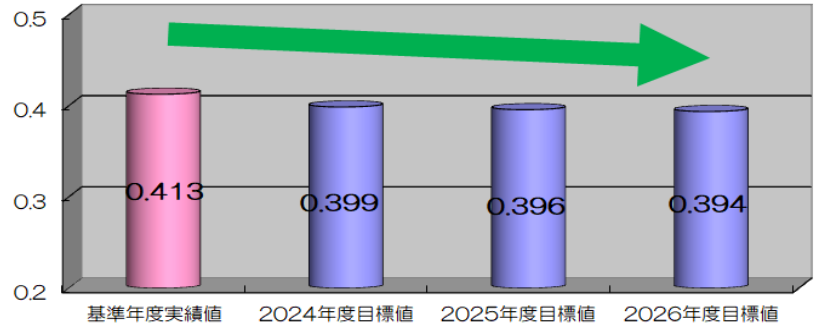
売上百万円当りの排出量は、対目標値比で13.5%削減出来ました。
排出量全体の88%を占める木くずが、対前年度比で7.3%削減しました。
工程内不良削減による、廃棄木材削減等の効果が出ております。

2023年度の評価は

これからの計画

1）　次年度(2024年度)から3か年の目標値

売上百万円当り　　・単位：t



	基準値	2024年度目標値	2025年度目標値	2026年度目標値
基準値/目標値	0.413	0.399	0.396	0.394
削減率(%)	―	3.5%	4.0 %	4.5%

2）　次年度(2024年度)の重点取り組み計画

a.　工程内不良削減による廃棄木材の削減
b.　木質ボード端材の部材用材料としての利用

5.　化学物質の適正な管理

これまでの実績

1) 2023年度の活動計画に対する取り組み実績

a. 化学物質使用量の把握　…　○　実施
b. 溶剤容器の適切性の確認と改善　…　○　実施
c. 緊急事態訓練の実施　…　○　実施

2) 2023年度の活動計画以外で行った取り組み実績

a. 化学物質管理関連講習会の受講
講習会名：「化学物質管理者講習」
実施日：2023年10月10日
場所：さいたま市 大宮ソニックシティビル
主催：一般財団法人 安全衛生マネジメント協会
当社からの参加者：2名

2023年度の評価は

よくできました

これからの計画

1)　次年度(2024年度)の重点取り組み計画

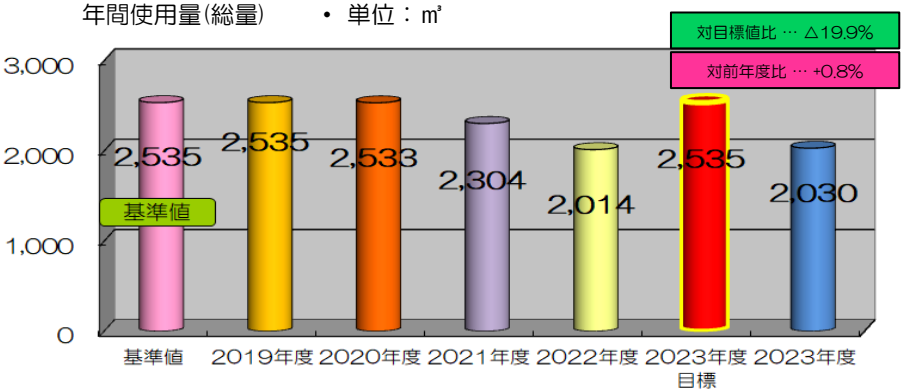
a. 化学物質使用量の把握
b. 溶剤容器の適切性の確認と改善
c. 緊急事態訓練の実施

6. 水使用量の削減

これまでの実績

当社における水使用の主な目的
・ボイラー用　・手洗い用　・接着機洗浄用

1) 過去5年間の実績
年間使用量(総量)　・単位：㎥



2) 2023年度の活動計画に対する取り組み実績
a. 蛇口への節水呼び掛けの表示　…　○　実施

3) 2023年度の活動計画以外で行った取り組み実績
a. 事務所の屋根に遮熱塗料を塗って夏場の温度上昇を軽減させ、前年度まで行っていた屋根への散水を止めました

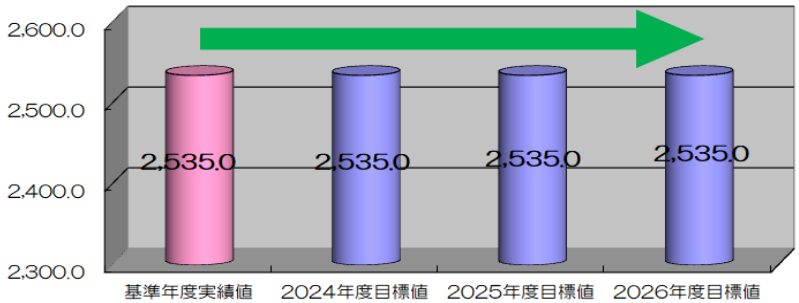
4) 2023年度の評価
目標値(使用量総量)は、対目標値比で19.9%削減出来ました。

2023年度の評価は

これからの計画

1) 次年度(2024年度)から3か年の目標値

年間使用量　単位：㎥



	基準値	2024年度目標値	2025年度目標値	2026年度目標値
基準値/目標値	2,535.0	2,535.0	2,535.0	2,535.0
削減率(%)	—	0.0%	0.0%	0.0%

2) 次年度(2024年度)の重点取り組み計画
a. 蛇口への節水呼び掛けの表示

7. 会社周辺の清掃の推進

これまでの実績

1）2023年度の活動計画に対する取り組み実績

a. 会社周辺道路の週1回清掃の実施　　…　○　実施
b. “木工団地クリーンアップ作戦“への参加
c. 会社周辺道路・歩道 街路樹落葉の清掃
　2023年12月1日、12月7日、 及び12月14日 に実施

会社周辺道路・歩道　街路樹落葉の清掃活動の写真

2023年度の評価は

よくできました

これからの計画

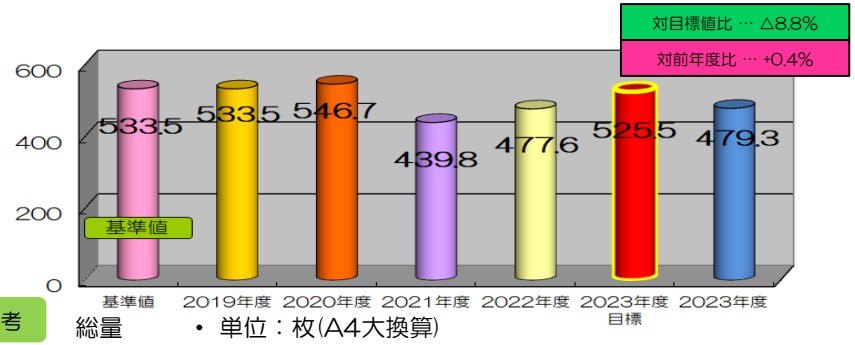
1）次年度(2024年度)の重点取り組み計画

a. 会社周辺道路の週1回清掃の実施
b. “木工団地クリーンアップ作戦“への参加
c. 会社周辺道路・歩道 街路樹落葉の清掃

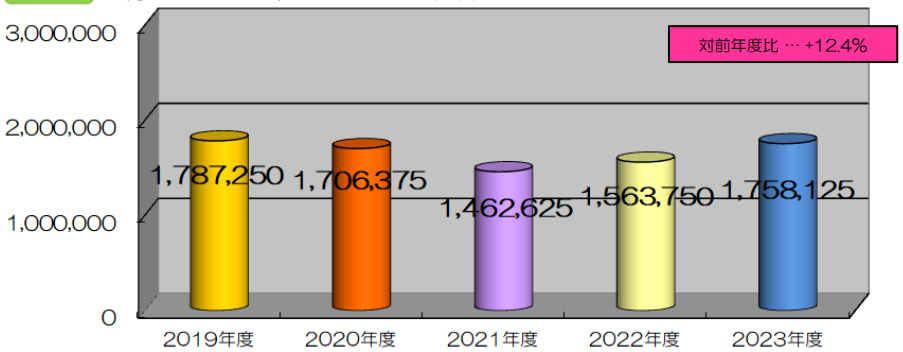
8. コピー用紙使用量の削減

これまでの実績

1) 過去5年間の実績　　売上百万円当り　　・単位：枚(A4大換算)



参考　総量　・単位：枚(A4大換算)



2) 2023年度の活動計画に対する取り組み実績

a. コピー用紙裏紙の再使用 … ○ 実施
b. 会議資料の紙からプロジェクター使用への変更の推進 … ○ 実施
c. 生産指示配付資料の削減 … ○ 実施
d. 新業務システムでのペーパーレス化の検討 … ○ 実施

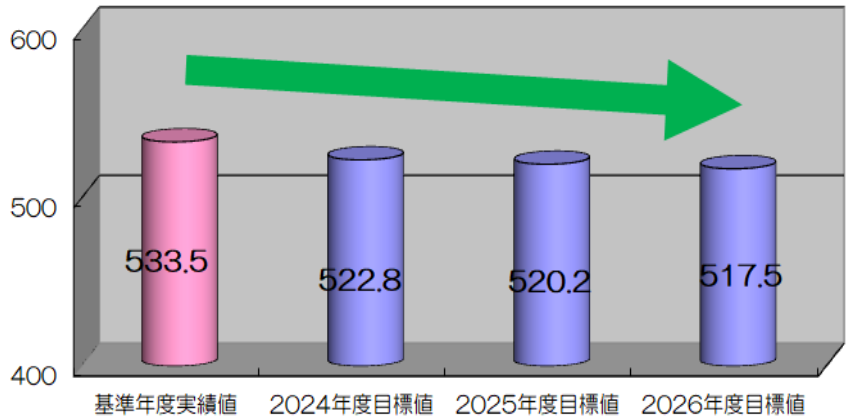
3) 2023年度の評価

売上百万円当りの使用量は、対目標値比で8.8%削減出来ました。
新業務システムを初めて年度を通して使用した年となり、ペーパーレス化を進めることが出来たものと思われます

2023年度の評価は

これからの計画

1) 次年度(2024年度)から3か年の目標値
売上百万円当り　　・単位：枚(A4大換算)



	基準値	2024年度目標値	2025年度目標値	2026年度目標値
基準値/目標値	533.5	522.8	520.2	517.5
削減率(%)	—	2.0%	2.5%	3.0%

2) 次年度(2024年度)の重点取り組み計画

a. 会議資料の紙からプロジェクター使用への変更の推進
b. 新業務システムでのペーパーレス化

9.　環境に配慮した製品設計の推進

これまでの実績

1）顧客に対する設計変更提案の実施

環境への配慮の観点からの、顧客に対する設計変更提案に取組んできました。
内容は
a. 部材・部品点数の削減
b. 端材の部材材料への活用
c. 廃棄端材の削減
などです。

2023年度の評価は

よくできました

これからの計画

1）次年度(2024年度)の重点取り組み計画

引き続き、環境への配慮観点からの、顧客に対する設計変更提案を進めて行きます。

a. 部材・部品点数の削減
b. 端材の部材材料への活用
c. 廃棄端材の削減

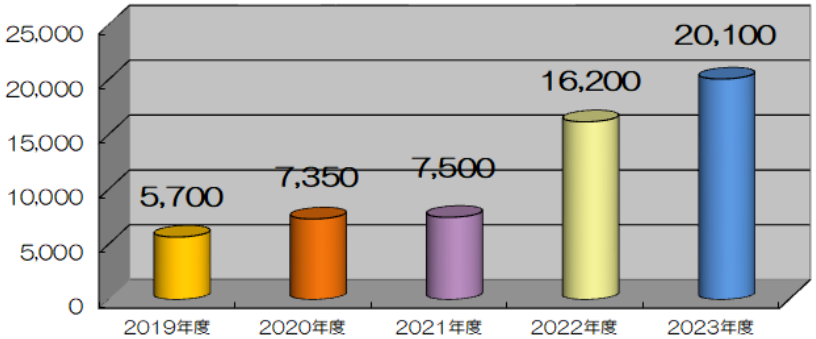
10.　その他の活動

これまでの実績

1）ペットボトルキャップの収集・寄付

2017年12月より開始したペットボトルキャップの回収と寄付を、今年度も継続して行いました。
廃棄物を利用した社会貢献として、集めたキャップを団体へ送り、途上国等の子供たちへのワクチン費用としていただきます。
２023年度は、これまでで最多の20,100個のキャップが集まりました。

ペットボトルキャップ収集・寄付個数実績　　単位：個



2023年度の評価は

これからの計画

1）　次年度(2024年度)の重点取り組み計画

a.　ペットボトルキャップの収集・寄付
b.　環境関連研修会への参加
c.　環境関連ボランティア活動への参加

Ⅵ.　2023年度実績の総括

環境目標(数値目標)の達成状況と活動状況のまとめです

環境目標名	数値目標 達成率 青 … 達成率 赤 … 未達成率	数値目標 達成状況	活動実施状況	総合評価
1. 二酸化炭素排出量の削減	102.1%	○　達成	― (電力使用量の削減及び化石燃料使用量削減の活動による)	よくできました
2. 電力使用量の削減	104.3%	○　達成	○	
3. 化石燃料使用量の削減	22.2%	×　未達成	○	
4. 廃棄物排出量の削減	113.5%	○　達成	○	
5. 化学物質の適正な管理	― (数値目標は無し)	― (数値目標は無し)	○	
6. 水使用量の削減	119.9%	○　達成	○	
7. 会社周辺の清掃の推進	100%	○　達成	○	
8. コピー用紙使用量の削減	108.8%	○　達成	○	
9. 環境に配慮した製品設計の推進	― (数値目標は無し)	― (数値目標は無し)	○	
10. その他の活動	― (数値目標は無し)	― (数値目標は無し)	○	

Ⅶ.　環境関連法規等の遵守状況並びに訴訟・苦情の有無

法規等名称	当社で対応必要な主な内容	対応状況評価
廃棄物処理法	・廃棄物を適正に保管する　・許可証のある収集運搬業者及び処理業者と契約する ・マニフェストを適正に管理する	○
騒音規制法	・対象設備について特定施設の届出をする　・騒音を規制基準内に抑える	○
振動規制法	・対象設備について特定施設の届出をする　・振動を規制基準内に抑える	○
大気汚染防止法	・ばい煙発生施設に係るばい煙量、又はばい煙濃度を測定し、その結果を記録し、保管する	○
毒物及び劇物取締法	・劇物を貯蔵する場所に「医薬用外劇物」の文字を表示する ・在庫量の定期点検と使用量の把握（入出庫管理）を行う	○
自動車リサイクル法	・使用済となった自動車は引取業者に引渡す	○
家電リサイクル法	・特定家庭用機器を廃棄物として排出する場合は、運搬者に適正に引渡す	○
ダイオキシン類対策特別措置法	・排出基準に適合しない排出ガス、排出水は排出しない ・対象設備について特定施設の届出をする	○
オフロード法	・フォークリフトは点検整備により適正な排出ガス性能を維持する ・フォークリフトは基準適合機械を使用する	○
フロン排出抑制法	・業務用エアコン及びパッケージエアコンについてフロンを漏出させないようにする	○
グリーン購入法	・できる限り環境物品等を選択するよう努める ・環境への負荷の把握のため必要な情報を適切な方法で提供するよう努める	○
栃木県生活環境の保全等に関する条例	・駐車場でのアイドリングストップを周知させる	○
鹿沼市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	・簡易な包装，容器等を使用し、廃棄物の排出を抑制する	○
鹿沼市きれいなまちづくり推進条例	・事業活動により地域の美観を損なうことのないよう措置を講じる ・従業員への環境美化に関する意識の啓発を行う	○

当社に適用される環境関連の法律及び条例は以上の通りです。
今年度中の環境関連の法律及び条例への違反はありませんでした。なお，関係当局より違反等の指摘はありませんでした。
また、社外からの苦情もありませんでした。

Ⅷ.　代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

実施日：2024年3月19日

1．環境経営システムの有効性及び環境活動の適切性についての評価
　数値管理を行っている7項目のうち6項目で、年度目標値を達成する見通しとなっている。
　二酸化炭素排出量及び電力使用量では、2030年度の目標値に対しても達成出来るペースとなっており、良好である。

2．環境経営方針
　現行の2019年10月１日付のものを継続する。

3．環境経営目標及び環境経営計画
　数値目標の達成度合いについては、3年連続して良い状況が続いている。これを維持することが出来るよう、効果的な対策を継続的に行っていくこと。

4．実施体制
　現行の組織体制を継続する。

Ⅸ.　2024年度の活動に向けて

実績の分析及び課題への対応を着実に行い、年度の数値目標を達成することによって、環境に関する当社の社会的責任を果たすことが出来るよう、努力して参ります。